

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	鋼構造接合小委員会		主 査 名：増田 浩志 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)		委員長名：緑川 光正 主 査 名：多田 元英
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>鋼構造接合部に関して、技術者に有益な情報を提供することを目的とする。</p> <p>2013年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『高力ボルト接合設計施工ガイドブック』の改訂作業を進める。 ・『鋼構造柱脚設計施工ガイドブック』の刊行を目指して調査研究を進める。 ・梁端混用接合部に関するシンポジウム開催を目指して調査研究を進める。 <p>2014年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『高力ボルト接合設計施工ガイドブック』の改訂作業を進める。 ・『鋼構造柱脚設計施工ガイドブック』の刊行を目指して原稿案を作成する。 ・梁端混用接合部に関するシンポジウム開催を目指して調査研究を進める。 <p>2015年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『高力ボルト接合設計施工ガイドブック』の改訂作業を進める。 ・『鋼構造柱脚設計施工ガイドブック』の刊行を目指して原稿案を作成する。 ・梁端混用接合部に関するシンポジウム開催を目指して調査研究を進める。 <p>2016年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『高力ボルト接合設計施工ガイドブック』を発刊する。 ・『鋼構造柱脚設計施工ガイドブック』を刊行する。 ・梁端混用接合部に関するシンポジウム資料の最終原稿を仕上げる。 		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：増田浩志 (宇都宮大学) 幹事：桑原進 (大阪大学) 委員：清成心 (清水建設), 佐藤篤司 (名古屋工業大学), 軸丸久司 (日建設計), 吹田啓一郎 (京都大学), 鈴木直幹 (竹中工務店), 田中剛 (神戸大学), 福田浩司 (新日鐵住金), 藤田哲也 (日本設計), 松本由香 (横浜国立大学), 山田哲 (東京工業大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>鋼構造柱脚WG : 柱脚設計施工ガイドブックを取りまとめる</p> <p>梁端混用接合WG : 調査研究に基づく定量的な評価による設計を提案する</p>		
2016 年度予算	460,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス：http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s36/</p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (鋼構造柱脚 WG3 回, 梁端混用 WG3 回)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	<p>1. 『高力ボルト設計施工ガイドブック』</p> <p>2. 『鋼構造柱脚設計施工ガイドブック』</p>
講習会	<p>1. 「高力ボルト設計施工ガイドブック」改訂講習会 参加者数：東京174名・大阪120名</p> <p>2. 講習会「鋼構造柱脚設計施工ガイドブック」 参加者数：東京238名・大阪112名</p>
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	<p>1. シンポジウム「現場溶接による梁端混用接合部の構造性能と設計・施工 –実験データベースによる検討」 参加者数：111名</p> <p>『同名資料』</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 『高力ボルト接合設計施工ガイドブック』第2版ならびに『鋼構造柱脚設計施工ガイドブック』を発刊し、東京および大阪で講習会を行った。また、シンポジウム『現場溶接による梁端混用接合部の構造性能と設計・施工 —実験データベースによる検討』を開催した。</p> <p>2. 当初の活動計画のとおり成果を上げており、鋼構造接合部に関して技術者に有益な情報を提供する小委員会の目標が十分に達成されている。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>特になし</p>